



桜満開の下、16名の聖火ランナーが 聖火を繋ぐ



東京2020オリンピック聖火リレーが4月3日(土)八幡町市街地で開催されました。

郡上市は、1日目の第5区間として、八百津町から聖火が引き継がれ、市内在住で選ばれた3名を含めた16名の聖火ランナーがそれぞれの想いを込めて2.7kmのコースを継走しました。

スタート地点となった市役所周辺では、盛り上げイベントとして、ご両親が八幡町出身の篠田伸二監督作品の映画「シンブル・ギフト」はじまりの歌声」を上映。聖火リレーでスタートを務めた、妻で俳優の紺野美沙子さんも来場されました。

また、セレモニー会場では1年ぶりの「郡上おどり」を出演。「日本一のおどりのまち」を世界に向けてPRしました。第1走者の紺野美沙子さんのスタート時には、その後方を市内8つの中学校から選出された16名の生徒がサポートランナーとして並走して、聖火リレーを盛り上げました。

市民のみなさんには、新型コロナウイルス感染症に留意した応援と八幡町市街地を中心とした大規模な交通規制にご協力をいただき、ありがとうございます。聖火を無事に高山市へと繋ぐことができました。



郡上市在住 3名の聖火リレーを終えての感想



三輪まり子さん

オリンピックに出るのが小さい時からの夢だったので、今回、直接関わって、感謝の気持ちでいっぱいです。

郡上の街を走ったことは、一生忘れることはないです。この聖火が無事に新国立競技場に繋がることを願っています。



籾修子さん

聖火ランナーとして素直に緊張しました。

たくさん応援にかけつけてくださった方々に見守られる中、次にしっかり繋ぐんだという気持ちで走れて良かったです。



渡邊一吉さん

非常に貴重な体験をさせていただき、とても感動しました。

近所の方が手を振って応援してくれたので、自分もそれに答えようと手を振って「頑張ってるぞ」という意気込みは伝わったと思います。

郡上市スポーツアンバサダー

池江璃花子選手 東京 2020 オリンピック競技大会内定

おめでとうございます!!



©2018 Hiroyuki Nakamura



©2018 Hiroyuki Nakamura

東京オリンピック代表選考を兼ねる競泳の日本選手権で女子100メートルバタフライ優勝に続き、女子100メートル自由形でも優勝し、リレー2種目の五輪代表に内定しました。

その後も勢いは止まらず、50メートルバタフライ、50メートル自由形も制し、本大会4冠を達成しました。

今後も郡上市では池江選手を応援します。

みんなで応援しましょう!!

池江選手!
本当にすごすぎるらら～
オリンピックでもがんばってらら～

